

## 平成19年度財務の概要

### 主な事業

平成19年度の事業総額は1,224百万円で、そのうち施設関係の主なものは、鹿児島高校校舎改築工事914百万円、大学で、学生の福利厚生を目的とした「森のカフェ」の新設工事30百万円、鹿児島幼稚園の園舎・リズム室間屋根設置工事2百万円等で総額956百万円、設備関係では、教育関係設備充実の為、学生用ノートパソコンやインターネット環境構築等をリース総額で144百万円、図書は71百万円、機器備品は9百万円の事業を行いました。

### 収支の概要

消費収支については、消費収入の部で、帰属収入は6,975百万円となり前年度決算に比べて514百万円の減少となりました。

その主な要因は、学生・生徒数の減少で在籍者数が前年比454人の減少、学生納付金が前年度比341百万円の減少、土地の寄贈305百万円の増加、補助金が57百万円の減少となり、雑収入は退職金財団交付金・退職金社団交付金の減収により418百万円の減少となりました。

また、基本金組入額は1,389百万円で、その主なものは、鹿児島高校校舎改築工事914百万円(2ヶ年継続工事、20年度予算1,097百万円で合計2,011百万円)、大学の「森のカフェ」の新設工事30百万円、図書の購入等であります。

したがって、消費収入合計は5,586百万円となり、前年度比1,739百万円の減少となりました。

一方、消費支出の部合計は、6,587百万円で前年度比620百万円の減少となりました。

その主な要因は、人件費で手当等の改正により572百万円の減少、教育研究経費が47百万円の減少、管理経費は3百万円の減少となりました。

消費収支差額は、1,001百万円の支出超過となりますが、施設工事の鹿児島高校校舎改築工事914百万円を除くと87百万円の支出超過となり、次年度繰越消費収支超過額は210百万円の支出超過となりますが、鹿児島高校校舎改築工事を除けば704百万円の収入超過となりました。

1. 平成19年度の資金収支は、収入合計11,283百万円、支出合計11,849百万円となりました。

収支は566百万円のマイナスとなり、前年度繰越支払資金は5,892百万円、次年度繰越支払資金は5,326百万円となりました。

2. 平成19年度末資産概要は、総資産合計25,561百万円となり、平成18年度比482百万円の減少となりました。

①資産の内訳は

イ. 固定資産は19,247百万円で前年度比478百万円の減少

内訳は、有形固定資産は15,949百万円で前年度比1,019百万円の増加となりました。

主因は土地の寄贈305百万円増加と減価償却額の累計額は323百万円増の5,868百万円となったことによります。

その他の固定資産は3,298百万円で前年度比1,496百万円の減少となりました。

ロ. 流動資産は6,314百万円で前年比4百万円の減少となりました。

②負債の内訳は

イ. 固定負債は1,816百万円で前年度比164百万円の減少

内訳は、長期借入金は513百万円で前年度比48百万円の減少、退職給与引当金は1,303百万円で前年度比117百万円の減少となりました。

ロ. 流動負債は1,999百万円で前年度比705百万円の減少

内訳は、未払金および前受金等が1,951百万円で前年度比705百万円の減少となりました。

ハ. 基本金は、21,956百万円で前年度比1,389百万円の増加

ニ. 翌年度繰越消費支出超過額は、210百万円となり前年度比1,001百万円の減少となりました。